

別子往還道コンセプト 基本構想「軸線」

「観光・知の創造・市民協働のまちづくり」発展軸  
新居浜都市づくり戦略  
【街道観光づくり】

- 街道観光づくり  
街道観光は「人の移動」「往来での交流」を指し、「歩く」ことで地域との交流が生まれます。街道の景観形成、街道が結ぶ近代化産業遺産等の歴史文化資源や諸施設の整備保全を進め、訪れる人と地域との観光交流の促進を図ります。
- 街道観光資源  
・景観資源：街道からの景観、まち並み景観（石積や土壁など家並み）  
・無形文化資源：銅の運搬、地名の由来、祭等民俗文化  
・有形文化資源：文化財、史跡、常夜灯、石碑、句碑
- ストーリー性のあるヘリテージツーリズムの創造  
・仲持、鉱山鉄道、牛車道等ストーリー性を活用  
・食、教育、商業等様々な分野とのまちづくり連携
- 様々な道の複合によるまちづくりネットワーク軸  
・登り道、銅(あかがね)の道、中筋街道、下部鉄道跡  
→ 歴史文化の道
- 星越・惣開と山根・立川拠点間を結ぶ都市部ネットワーク軸  
・市街地観光周遊と交流のネットワーク化  
・学習や教育に資する近代化産業遺産のネットワーク化
- 重要文化財旧広瀬家住宅と複数の登録有形文化財を結び、さらに星越地区山田社宅を結ぶ近代化産業遺産と文化財ネットワーク化による都市計画フレームへの組み込み  
・歴史まちづくり法、景観法への活用

◇観光交流まちづくり

- ヘリテージツーリズムの創造と推進
- ヘリテージツーリズムの創造人材の育成と推進体制の構築
- 近代化産業遺産とものづくり産業観光の推進による地域ブランド力向上
- 別子銅山のインフォメーション ホスピタリティあふれるおもてなし
- フィルムコミッション ロケ地誘致

<基本構想>まちづくり方針図



◇知の創造学びの場

- ミュージアムリンク 都市型観光の推進の核となる知の創造体験
- 学校教育 総合的な学習の時間に別子銅山学習、郷土心の醸成
- 子ども観光大使制度の活用と取り組み
- 生涯学習の講座

◇地域コミュニティ再生

- 別子銅山の記憶の継承から未来への記録伝承へ三世交代による地域の絆づくり
- 幅広い市民意識の調査・分析を実施することにより、「別子銅山近代化産業遺産を活かしたまちづくり」への理解促進のための方策を検討
- 近代化産業遺産の保存活用に市民ボランティアによる協働のまちづくりを推進
- 高齢化社会における市民生活ニーズに近代化産業遺産の機能転換活用を図り新たなコミュニティの場づくり
- 生涯学習の講座

◇都市計画との連携

- 産業都市再生
- 都市計画と近代化産業遺産を活かしたまちづくりの連携
- 都市計画フレームへの組み込み（歴史まちづくり法、景観法など）

凡 例	
— (Red line)	住友鉱山鉄道上部線跡
— (Yellow line)	住友鉱山鉄道下部線跡
— (Red line)	銅(あかがね)の道
— (Orange line)	牛車道
— (Purple line)	索道跡
— (Black line)	炭の道
● (Orange circle)	主要な近代化産業遺産
● (Pink circle)	国指定重要文化財
■ (Green square)	国登録有形文化財
▲ (Blue triangle)	県指定史跡

ミュージアム	
● (Blue circle)	拠点ミュージアム
● (Blue circle)	既設ミュージアム
● (Red circle)	新設ミュージアム
● (Orange circle)	自転車道周遊ルート
● (Blue circle)	産業遺産拠点ゾーン
— (Red line)	産業観光ゾーン
● (Red circle)	観光拠点
— (Red line)	別子往還道 道の整備
— (Red dashed line)	街道観光

S=NO SCALE 0 500m 1km 2km